

8 諮問文・答申文・県議会意見

(1) 諮問文

元企調第515号

令和元年7月19日

福島県総合計画審議会長 様

福島県知事

新しい福島県総合計画の策定について（諮問）

東日本大震災及び原子力災害からの復興状況や時代潮流等を踏まえ、長期的展望に立った県政の基本的な方向性を示す必要があるため、福島県総合計画審議会条例（平成14年福島県条例第92号）第1条の規定に基づき、新しい総合計画の策定について、貴審議会に諮問します。

(2) 答申文

3 総審第11号

令和3年8月31日

福島県知事 様

福島県総合計画審議会長

新しい福島県総合計画の策定について（答申）

令和元年7月19日付け元企調第515号で諮問のあったこのことについては、審議検討の結果、別紙「福島県総合計画（案）」のとおり答申します。

なお、計画の推進に当たっては、以下の点に格別の配慮を払われるよう要望します。

記

- 震災から10年を経たなお福島県の復興・再生は途上であり、復興のステージが進むにつれて復興の進捗に差が生じ、地域における課題が多様化・複雑化している。県は、これらの課題それぞれにきめ細かに対応するとともに、未曾有の複合災害に立ち向かってきた福島県民の頑張りや人と人の繋がり（ご縁）を大切にしながら、本計画に基づき、広域自治体として、県民、民間団体、企業や市町村など様々な主体とそれぞれが担う役割に応じて、各主体間の連携や調整を適切に図り、復興・再生を着実に推進すること。
- 少子高齢化と人口減少の急速な進行が避けられない中、これらを消極的に受け止めるのではなく、成熟した社会として理解した上で、県内の様々な主体と協働しながら、地方創生をはじめとした持続可能で豊かなふくしまの実現に向けた取組を一層推進すること。
- 新型コロナウイルス感染症が県民生活や社会経済に及ぼしている影響は深刻かつ甚大である。引き続き、新型感染症の収束に全力で取り組むとともに、これから大きく変わりつつある社会のあり方や課題をしっかりと把握し、生活者の目線で、希望あふれる福島づくりに向けた施策の構築・展開を図ること。
- 本計画は、策定過程において、多くの県民の皆さんにご参加いただき、対話を重ねながら目指す将来の姿を描いてきたものであり、県内の様々な主体の共通の指針となるものである。
「多様性」を認め合い、「包摂性」が担保された地域社会の実現を目指し、県民一人ひとりが身近に感じ、自分事と感じられる計画となるよう、計画の趣旨や内容の周知を図ること。
- 計画策定後においても、適時適切な事業効果の分析や、根拠に基づく政策立案により、毎年度県の取組の成果を簡潔で分かりやすく公表して進行管理を行い、計画の実効性を確保すること。

(3) 県議会意見

福島県知事 内堀 雅雄 様

「新たな福島県総合計画」策定にあたっての意見

令和3年8月2日

福島県議会議長 太田 光秋

本県においては、震災からの復興・再生を着実に進めるため、平成21年度に策定した福島県総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」の全面的な見直しを平成24年度に行い、新たに「ふくしま新生プラン」を策定し、平成25年度から、震災から10年の節目となる平成32（令和2）年度を目標年度とする8か年計画として、県政運営の指針としてきたところである。

県では令和元年度に新たな総合計画の策定に着手し、その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、新型感染症の県民生活への影響分析等も踏まえながら、現在、計画内容の検討作業を進めている。

総合計画については県議会の議決事件であり、県民の負託を受けた県議会が総合計画に意見を反映させることが重要であるとの考えの下に、本年2月定例会において「新たな福島県総合計画」調査検討委員会を設置し、福島県総合計画審議会における計画案策定作業と並行して、全8回にわたり調査検討を重ねてきた。

その調査検討を通じて、総合計画改訂中間整理案に多くの意見が反映されたところであるが、さらに、今後策定される計画最終案に対して、県議会として反映させるべき意見を取りまとめたところである。

県議会としては、これらの意見を県議会の総意としたところである。については、県においては、総合計画案策定に当たり、次の事項に留意のうえ、積極的に対応されるよう申し入れる。

〈総合計画策定において対応を求める意見〉

1 県民が主役となる総合計画

- 県民が主役であり、誰一人取り残さず、一人一人の県民が大切にされる社会を目指す計画にすべきである。
- 社会の在り方や県民の意識も大きく変化、発展している中で、県民の声に寄り添う計画にすべきである。
- 計画実現に向け、県民が自分事として課題を認識し、教育現場とも連携するなど、県民ぐるみで考え方を共有して取り組むことのできる環境づくりを進めるべきである。

2 計画の着実な推進

- P D C Aサイクルを着実に実施することが重要であり、そのためにも、適切な指標を設定すべきである。
- 「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」のスローガンのもとで策定される総合計画であり、「実現」がより問われるため、県は、職員が指標を意識しながら、行政運営にあたる組織文化の醸成を図り、各目標の実現に向けて主体性をもって取り組むべきである。
- 総合計画と各種個別計画の内容及び期間について整合を図るべきである。

3 伝わる表現と発信

- 計画の記載は、分かりやすい表現で、よく理解できるよう工夫するとともに、ユニバーサルデザインの観点も踏まえ、計画の理念や内容が、しっかりと県民に伝わるようにすべきである。
- S D G s の基本的な考え方を根幹に置くことなどについて、さまざまな媒体や機会を活用して県内外に広く発信していくべきである。

4 状況の変化を踏まえた適切な見直し

- 想定を超える事象の発生や社会情勢が急速に変化してゆく中で、本県を取り巻く状況も日々変化することを踏まえ、常に新たな情報を広く収集し、県内外における位置づけを意識しながら、状況に対応した適時、適切な計画の見直しを行うべきである。

5 その他

- 計画を推進するに当たり、財源の確保に努め、財政の健全化を図るべきである。

(4) 福島県総合計画審議会・部会委員名簿

●福島県総合計画審議会委員名簿

最終審議がなされた日（令和3（2021）年8月24日）現在

（敬称略 五十音順）

氏名		役職名	総合計画・復興計画 策定検討部会
会長	岩崎 由美子	福島大学行政政策学類 教授	○
副会長	塩谷 弘康	福島大学 副学長（総務担当）	
副会長	渡邊 博美	福島県商工会議所連合会 会長	○
委員	青砥 和希	一般社団法人未来の準備室 理事長	
委員	安斎 康史	株式会社福島民報社 編集局長	
委員	大宅 宗吉	福島県町村会 会長代理副会長	
委員	小野 広司	福島民友新聞株式会社 編集局長	
委員	川崎 興太	福島大学共生システム理工学類 教授	◎
委員	菅野 孝志	福島県農業協同組合中央会 会長	
委員	木村 守和	一般社団法人福島県医師会 副会長	
委員	轡田 倉治	福島県商工会連合会 会長	
委員	小林 清美	一般財団法人福島県婦人団体連合会 会長	
委員	小林 奈保子	なみとも 代表	
委員	今野 泰	日本労働組合総連合会 福島県連合会 会長	○
委員	酒井 美代子	公益社団法人福島県建築士会女性委員会 委員長	
委員	立谷 秀清	福島県市長会 会長	
委員	西崎 芽衣	一般社団法人ならはみらい	○
委員	野崎 哲	福島県漁業協同組合連合会 代表理事会長	
委員	橋本 直子	須賀川瓦斯株式会社 代表取締役社長	
委員	樋口 葉子	ふくしま子育て支援ネットワーク 代表世話人	
委員	星崎 歩美	bird 代表	
委員	前澤 由美	特定非営利活動法人いわき緊急サポートセンター 理事長	○
委員	松本 秀樹	福島県森林組合連合会 代表理事専務	
委員	横田 純子	特定非営利活動法人素材広場 理事長	○
委員	和田 佳代子	いわき地域環境科学会 副会長	
特別委員（令和3（2021）年1月1日～令和3（2021）年12月31日）			
特別委員	岩瀬 次郎	会津大学 理事	○
特別委員	長林 久夫	日本大学工学部 名誉教授	
特別委員	福迫 昌之	東日本国際大学 学長代行	○
特別委員	松澤 瞬	合同会社 SCOP 代表社員	○

◎総合計画・復興計画策定検討部会会長、○部会委員

●福島県総合計画審議会旧委員名簿

諮問がなされた日（令和元（2019）年7月19日）以降

（敬称略 五十音順）

氏名	役職名 ※役職名は就任当時のものです	就任期間
伊藤 江梨	暁経営会計・伊藤江梨税理士事務所 代表	令和元年6月5日～ 令和3年6月4日まで
小椋 敏一	福島県町村会 会長	令和元年6月5日～ 令和2年9月18日まで
鞍田 炎	株式会社福島民報社 編集局長	平成29年6月5日～ 令和2年7月9日まで
佐藤 淳一	福島県町村会 会長	令和2年9月18日～ 令和3年6月4日まで
関 元行	一般社団法人福島県医師会 副会長	令和元年6月5日～ 令和2年7月6日まで
南雲 勇多	東日本国際大学経済経営学部 准教授	令和元年6月5日～ 令和3年6月4日まで
宮本 皓一	福島県町村会 会長	令和3年6月5日～ 令和3年8月5日まで
渡部 美加	特定非営利活動法人喜多方市民活動サポートネットワーク 事務局長	令和元年6月5日～ 令和3年6月4日まで

（5）福島県議会「新たな福島県総合計画」調査検討委員会委員名簿

議長に検討結果の報告がなされた日（令和3（2021）年7月29日）現在

（敬称略 期別・議席番号昇順）

	氏名	所属会派
委員長	矢吹 貢一	自由民主党
副委員長	椎根 健雄	県民連合
委員	鈴木 優樹	自由民主党
委員	真山 祐一	公明党
委員	橋本 徹	県民連合
委員	佐藤 義憲	自由民主党
委員	渡部 優生	県民連合
委員	吉田 英策	日本共産党
委員	鈴木 智	自由民主党
委員	佐藤 雅裕	自由民主党